

キイロサナエ

Asiagomphus pryeri (Selys)
トンボ目・サナエトンボ科

【福井県カテゴリー】 新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧 【環境省カテゴリー】 準絶滅危惧

選定理由

安定した生息地が限られている。

分 布

日本固有種で、本州（関東以西）、四国、九州等に分布する。本県では各地に生息地が点在するが、安定した生息地は限られている。

種の特徴

体長60～69mmの大型のサナエトンボ。ヤマサナエに似るが、オスの副性器と尾部付属器、メスの産卵弁の形状が異なる。泥底ないし砂泥底の緩やかな流れに生息する。成虫は5～8月に出現する。

生息を脅かす要因

河川改修等が脅威となる。残存生息地の現状維持が望まれる。

参考文献 尾園ら（2013）、和田・和田（2006）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○	○				○			○		○	○	○

ホンサナエ

Shaogomphus postocularis (Selys)
トンボ目・サナエトンボ科

【福井県カテゴリー】 新：県域準絶滅危惧 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類 【環境省カテゴリー】 —

選定理由

前回の調査時に比べ、確認メッシュは増加した。しかし、各地点での個体数が少なく、本種が生息する河川中・下流域は人為的な影響を受けやすい環境であることから、種の存続へ圧力は強い。

分 布

北海道～九州に分布。県内では従来あわら市、坂井市の竹田川中流、兵庫川、福井市、小浜市等で記録があった。今回の調査では、おおい町、永平寺町でも生息が確認された。

種の特徴

ずんぐりした太身の中型サナエトンボ。平地～丘陵地の砂泥底の河川中・下流域や湖に生息する。幼虫期間2～3年（2～3年1世代）、幼虫越冬。成虫は主に4月下旬～6月中旬に出現する。

生息を脅かす要因

河川改修や水質汚濁の進行が幼虫の生息に悪影響を及ぼす。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、尾園ら（2012）、杉村ら（1999）、和田・和田（2006）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○					○	○		○	○			○

タベサナエ

Trigomphus citimus tabei (Asahina)
トンボ目・サナエトンボ科

【福井県カテゴリー】 新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧 【環境省カテゴリー】 準絶滅危惧

選定理由

安定した生息地が限られている。

分 布

国内では本州（中部以西）、四国、九州等に分布する。本県では小浜市、おおい町の南川に沿った地域に分布する。

種の特徴

体長43～47mmのサナエトンボ。コサナエに似るが、オスの副性器やメスの産卵弁の形状が異なる。緩やかな流れや池沼に生息する。成虫は4～6月に出現する。

生息を脅かす要因

河川改修や洪水による河川の変化、溜池の改修等が脅威となる。

参考文献 尾園ら（2013）、和田・和田（2006）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○	○											